

札幌市 札幌区		標高
さっぽろだけ		1293.8 m
登り	3:15	6:40
山頂	1:00	
下り	2:25	

△△ 札幌岳〔冷水沢コース〕

8月27日晴れ気温21度、前日までの蒸し暑さが少し治まり涼しい朝に夏バテ気味のメタボ隊員も生氣を取り戻し、道都の名を冠した札幌岳へと向かいました。

土日は込み合うとの噂を聞き早めに出発、スムーズに流れる石山通を定山溪温泉に向かい、温泉街を横目に豊平峡

ダム方面に左折するとまもなく左手に「札幌岳登山口」と書かれた立派な看板と広い駐車場が現れ、すでに7台程が先着していました。

入口脇の丸太小屋で入山届に記入し早速登山道に向かい、心地よい沢音を聞きながら整然と並ぶ林を縫うように進み、丸太橋を何度も渡って沢の左右を行き来しながら進んでいくと視界が開けて広い林道との交差点「ここが登山口だったら」と不埒な妄想を振り払い、上空を見上げると強い陽射しが気温の上昇を予感させます。

木々に囲まれた登山道は思ったより涼しく、キレイに苔生した沢の周りは心地よくメタボ隊員は順調にコースの中間点にある冷水(ひやみず)小屋に到着、山小屋は閉まっていましたが入口脇にはおいしい沢水が引かれていて休むにはもってこいの場所、この先の急な登りに備え長めの休憩をとってから出発、壁を登り切ると雨水が削った赤土の深い溝に岩や倒木が点在して歩きにくく亀歩きで前進します。

途中から視界が少し開け、木々の間に無意根山が見え山頂への期待が一気に高まり、手前のピークを横切りって緩やかな登りを進むと突然開けた空間が現れ札幌岳の山頂に出ました。

快晴の山頂からは札幌市内が一望でき、期待の羊蹄山や周囲の山々を遠くまで望むことができ、よく見ないと見つけられない自然の造形美通称「パゴダの塔」もクッキリ、不思議な形でした。

山頂は意外に広く10人ほどが先着している中を抜けて空沼岳へ向かう従走路脇の奇岩で休憩、寝そべってみると微妙な傾斜は意外にも心地よくハマってしまいます。

次々に登ってくる新旧山ガールに目を奪われつつ下りはじめ、もうすぐ駐車場というところですれ違ったカップルは雑誌を切り抜いたようなお二人でしたが、この時間に山頂まで行くと帰りは夜道では・・・といらぬ詮索をしつつ満杯で道路にまでハミ出した駐車場を後にしました。



空沼岳 恵庭岳 漁岳 狭薄山 徳舜警山 水口水口山

